

2021年4月28日
日本化学工業株式会社

チタン酸バリウムの新生産棟竣工について

日本化学工業株式会社は、2019年度より徳山工場（山口県）において建設を進めておりましたチタン酸バリウムの新生産棟がこのたび完成し、4月28日(水)に竣工式を執り行いましたので、お知らせいたします。

◆チタン酸バリウム新生産棟建設の背景

現在、当社は前中期経営計画方針でもありました「持続的安定収益の実現」に向け、重点分野への集中投資、海外戦略の積極的展開、経営基盤の強化に取り組んでおります。その中で、継続した需要増加が見込まれる積層セラミックコンデンサー（MLCC）市場へのチタン酸バリウムの需要増大が見込まれたため、2019年度に投資を決定し、徳山工場に新生産棟の建設を進めて参りました。

チタン酸バリウムは、積層セラミックコンデンサー（MLCC）の誘電体材料として採用されておりますが、自動車の自動運転の高度化やEV化により需要が急激に増加しております。また、今後は5Gの基地局やネットワーク機器、IoTデバイスの普及により、更なる需要の拡大が見込まれております。

当社のチタン酸バリウムの生産法はシュウ酸塩法と呼ばれるもので、水熱合成法や固相法に比べて、バリウムとチタンの組成が分子レベルで均一で結晶性に優れています。この特徴により、高信頼性MLCC向けの需要が多く、既存の工場では稼働率の高い状況が続いています。

今後、新生産棟では市場の拡大に合わせながら順次増産させていく計画であり、加えて既存の福島第一工場において生産効率化に向けた設備の再構築も計画しております。

積層セラミックコンデンサー（MLCC）は電子機器に欠かせない部品で、小型化・高性能化が求められています。当社は「人を大切に、技を大切に」の企業理念のもと、IoT化や自動車の電装化の更なる加速により増加する需要に対し安定的に応えることでMLCC業界の発展に貢献し、引き続き持続可能な社会の実現を目指します。

◆新生産棟の概要

- (1)工場立地：山口県周南市（日本化学工業株式会社 徳山工場内）
- (2)稼働開始：2021年上期中 予定
- (3)投資額：約37億円

◆工場外観



以上

本件に関するお問い合わせは、下記にお願い致します。
日本化学工業株式会社 海外戦略・I R広報グループ TEL03(3636)8060